

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL.107  
2025.3

TOPICS

1

## 令和6年度岡山大学学位記等授与式を挙行



3月25日、令和6年度学位記等授与式を岡山県総合グラウンド体育館で行い、学部生・大学院生ら計3,170人の門出を祝福しました。

式では国歌斉唱に続き、那須保友学長が学部・研究科などの総代23人に学位記・修了証書を授与。続いて、学業成績と人物がともに優れた学生に授与する「岡山大学黒正賞」の受賞者16人を表彰し、代表者に賞状と記念品を贈りました。

那須学長は式辞で、悩みや困難にぶつかった際に、自身を支え続けてきた言葉や音楽について紹介。「逆境や試練は乗り越えられる人にしか訪れません。選んだ道が正解だったかどうかは、自分の努力を通して自分の心が決めるもの、感じるものです」と卒業生らに呼びかけました。

卒業生を代表し医学部の小松原悠さん、修了生を代表し大学院法務研究科の岩崎文佳さんが答辞を述べました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id14113.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14113.html)



TOPICS

2

## JR西日本岡山支社と包括連携協定を締結

3月21日、西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社（以下、「JR西日本岡山支社」と）と、それぞれが有する人的・物的資源を有効活用し、緊密な連携による活動に取り組むことにより、地域の活性化に寄与することを目的として、包括連携協定を締結しました。

調印式では、那須保友学長、JR西日本岡山支社の林秀樹支社長が協定書に署名しました。那須学長は「大学と地域が連携し、地域貢献という価値を創造していくことは、本学の重要なミッションであり、ディシジョン・メイキングの場に本学学生を含めた若い人々が入っていくことが重要」と話し、林支社長は「SDGsの取り組みに関して岡山大学はトップランナーであり、深い知見と経験を持つ岡山大学との連携協定を結ぶことは、大変メリットがある。産学連携して、岡山を盛り上げていきたい」と述べました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id14101.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14101.html)

大学 × 西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社

### 包括連携協定締結式



### Pick up!

#### クラウドファンディング「倉敷市榑築墳丘墓出土特殊器台修復プロジェクト」による榑築墳丘墓出土特殊器台の修復が完了



本学大学院社会文化科学研究科考古学研究室が実施した「岡山大学 × READYFOR」クラウドファンディングプロジェクト「倉敷市榑築墳丘墓出土特殊器台修復プロジェクト」による榑築墳丘墓特殊器台の修復が完了し、3月6日、本学文学部考古資料展示室に納品・公開されました。

同特殊器台は「埴輪の起源」となる資料であり、教科書副読本にも写真が掲載されるなど傑出した価値を持ちます。接着剤の劣化により破損の危機にありましたが、今回の解体修復により、博物館等への貸し出しも再開できる見込みとなりました。

本プロジェクトには225人の方から温かいご寄付をいただきました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id14066.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14066.html)



TOPICS

3

## 自然科学研究科の田偉航さんと内藤秀文さんが仁科賞を受賞

岡山県出身の物理学者、故仁科芳雄博士の偉業を顕彰し、人物・成績ともに優秀な県内在学の理工系大学院修了予定者に贈られる「令和6年度仁科賞」の授与式が3月18日、岡山県庁で行われ、本学大学院自然科学研究科博士後期課程の田偉航さんと内藤秀文さんに伊原木隆太知事が賞状とトロフィーを手渡しました。

産業創成工学専攻の田さんは「組紐製造技術による繊維強化型人工筋肉の製作手法の確立と変位センシングの実現」の研究テーマで、学際基礎科学専攻の内藤さんは「水中または単純液体中における溶質間有効相互作用に関する分子シミュレーション及び積分方程式理論を用いた研究」でそれぞれ成果をあげ、同賞を受賞しました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id14110.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14110.html)



TOPICS

4

## 学長・理事がグッドジョブセンター職員と共同作業 ～新入生への想いを込めて～



3月3日、那須保友学長、三村由香里理事(企画・評価・総務担当)および袖山禎之理事(財務・施設担当)・事務総長が、グッドジョブセンターの事務・軽作業班のメンバーとともに、令和7年度に入学する新入生向け資料のセット作業を行いました。

この日は、朝礼に続いて、毎日行う作業であるタオルたたみを行いました。今回のメイン作業は、工学部の新入生向け資料のセットで、学長自らも50部をセットしました。作業を進める中で、工夫を重ね、最初の10部と最後の10部では出来栄の違いを実感したようです。

作業の最後には、学長から「どんな仕事にも、その先にある人の人生を考えて仕事をすることを覚えておいてほしい」とのメッセージがあり、参加者一同、大切な仕事への向き合い方について改めて考える機会となりました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id14050.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14050.html)

PRESS  
RELEASE

## 聴覚障害者向け緊急通知音振動変換アプリ「D-HELO」を開発

岡山大学病院聴覚支援センターの片岡祐子准教授、情報技術開発株式会社は、富士通株式会社本多達也氏のデザインと社会共創のディレクションのもと、共同で聴覚障害者向けの緊急情報提供アプリ「D-HELO(ディー・ヒーロー)」を開発しました。本アプリは、Apple Watchを利用して緊急車両のサイレンの音を識別し、振動やディスプレイによってユーザーに通知する機能を備えています。

本プロジェクトは、2022年度に国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「障害者対策総合研究開発事業(感覚器障害分野)」に採択され、3年間の開発期間を経て実現しました。3月27日、アプリサイトから無料で、一般向けにダウンロード開始する運びとなりました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id1367.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1367.html)



片岡准教授

